

<事業名> 城崎温泉文化的景観啓発事業

団体名	城崎温泉町並みの会
所在地	豊岡市
代表者名	四角 澄朗

事業内容	<p>(1) 豊岡まちなみゼミ城崎大会 The放談会「城崎を語る」 日時 令和4年7月7日(木) 13:00~16:00 場所 城崎温泉ロープウェイ山上 みはらしテラス 内容 基調講演 文化的景観としてみた城崎温泉 ー温泉の力から木造三階建ての大広間までー 京都工芸繊維大学教授 清水重敦 ワークショップ「共存共栄」の精神と城崎のこれから 城崎を担う若い衆×豊岡市で活動する若者たち</p> <p>(2) 町並み「かわら版」増刊号の発行 発行部数 1500部 発行日 令和4年8月25日 配布対象 豊岡市城崎町の全戸配布 仕様 A4サイズ表裏両面カラー刷り 内容 The放談会「城崎を語る」の内容報告</p>
------	--

地域	豊岡市
----	-----

事業の効果	<p>(1) 団体（組織）内の効果 コロナ禍で2年延ばしたゼミをやっと開催することができた。文化的景観の住民への啓発のキックオフイベントと位置づけ、必ずやりたいと思っていたため、まずは開催できたことに安堵を覚えている。この2年で組織の高齢化がますます顕著になり、今後が危ぶまれるため若者にシフトした内容としたが、この流れを今後を生かして、次のイベントを継続実施し、若者に仲間になってもらおうという機運が高まった。</p> <p>(2) 地域への波及 文化的景観を前面に据えたイベントは初めてだったので、町並み「かわら版」増刊号も含め、住民に文化的景観のことを少しは知ってもらえたかと思う。ただ、今回コロナ禍のこともあって参加者を限ったため、まだまだ周知が足りない。また、若者に城崎の今後のことを話し合ってもらったので、このイベントを一過性のものにならないように今後も努力したい。</p>
-------	---

	月日	実施内容	場所	参加人数
事業経過	6月5日	準備会議（打合せ）	城崎ロープウェイ会議室	2人
	6月8日	講師とZoom会議	城崎ロープウェイ会議室	4人
	6月8日	豊岡市城崎振興局に協力依頼	豊岡市城崎振興局	3人
	6月10日	豊岡市都市整備課に協力依頼	豊岡市役所	1人
	6月13日	町内各団体に協力依頼	各団体	1人
	6月15日	準備会議	豊岡市役所打合せコーナー	5人
	6月19日	豊岡市教育委員会に協力依頼	豊岡市立歴史博物館	1人
	6月21日	専門職大学に協力依頼	専門職大学	1人
	6月22日	チラシ町内配布仕分け作業	豊岡市城崎振興局	1人
	6月23日	準備会議（打合せ）	ますや（代表宅）	2人
6月26日	準備会議（打合せ）	城崎ロープウェイ会議室	2人	

	7月3日	準備会議（打合せ）	城崎ロープウェイ会議室	2人
	7月7日	The 放談会「城崎を語る」	みはらしカフェ	45人
	7月9日	礼状発送	メール	2人
	7月10日	事業報告書、かわら版作成	メールでやり取り	2人
	8月18日	事業報告書各団体配布	各地	2人
	8月22日	町並み「かわら版」増刊号仕分け	豊岡市城崎振興局	1人
	8月25日	町並み「かわら版」増刊号全戸配布	各地	
	10月31日	準備会議（まとめ）	城崎ロープウェイ会議室	3人
協働の相手	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡まち塾 ・(株)湯のまち城崎 ・城崎温泉観光協会 ・城崎観光(株) 			
今後の課題等	<p>(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等 城崎温泉まちなみの会は会員に高齢者が多いため、コロナ禍が始まってから極端に活動が減っている。コロナの沈静化が少しは期待される状況となったので徐々に復活することと、将来を見通して組織の若返り化や他の組織との連携など、抜本的な見直しを検討したい。</p> <p>(2) 地域活動を拡大していくための工夫等 今回若者に参加してもらったので、このつながりを大切にして、城崎の将来を語る続きのイベントをするなど、文化的景観の啓発や町並みまちづくりの活動を地道に行っていきたい。組織見直しも含め、町内での広域的な展開をしたい。</p>			



4年7月7日 紙芝居



4年7月7日 基調講演 清水教授



4年7月7日 会場全景



4年8月25日 町並みかわら版増刊号